



# 山口大学応用分子生命科学常盤台コロキアム

## *Tokiwada Colloquium in Yamaguchi University*

山口大学工学部（宇部市常盤台二丁目）

医学系研究科応用分子生命科学系（工学系）では、応用分子生命科学常盤台コロキアムを開いています。分子生命科学分野の第一人者の先生方の最先端の研究のお話を聞けるチャンスです。医学系をはじめとし山口大学のすべての大学院学生・学部学生・教職員の参加を歓迎します。また、近隣の研究機関、企業の方もどうぞお誘いあわせの上おいでください。入場無料です。

第 54 回 2016 年 1 月 13 日（水）午後 4 時 10 分より

D22 講義室

大阪府立大学大学院理学系研究科

教授 柳 日馨先生

### ラジカルの特性に基づく C-H 結合の位置選択的な変換

アルカンの C-H 結合を開裂させ、官能基化する方法は、ラジカル反応が得意とするところであるが、問題は位置選択性の制御である。もっともよく知られている成功例として Barton 反応があるが、飽和アルコールを用い、 $\delta$  位での位置選択的ニトロキシル化が達成されている。本講演では、ケトン、エステル、ニトリルなどの極性基を有する基質について、ラジカル極性効果と立体効果を組み合わせることにより、位置選択的な C-H 結合の C-C 結合への変換が達成される最近のわれわれの研究例を紹介する。

参考書：柳 日馨「有機ラジカル反応の基礎—その理解と考え方」丸善 2015 年 4 月  
Okada, M.; Fukuyama, T.; Yamada, K.; Ryu, I.; Ravelli, D.; Fagnoni, M. *Chem. Sci.* **2014**, *5*, 2893. Yamada, K.; Okada, M.; Fukuyama, T.; Ravelli, D.; Fagnoni, M.; Ryu, I. *Org. Lett.* **2015**, *17*, 1292.

なお、この講義は医学系研究科博士後期課程の「最先端ライフサイエンス研究科目」認定の講演会です。博士課程の学生諸君は、受講簿を持参してください。多数のご来聴を歓迎します。

問い合わせ先：応用分子生命科学系専攻 上村明男（9231）

理工学研究科物質化学専攻 西形孝司（9261）

